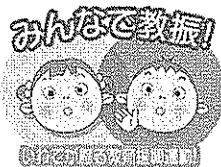


Let's 教振 No.1



川井村教育振興運動推進委員会

2009年7月21日発行

事務局 (川井村教育委員会内)

0193-76-2167

みんなで取り組もう！ メリハリテレビチャレンジ

川井村教育振興運動推進委員会では、各家庭でのテレビ視聴時間について考える契機とするため、『メリハリテレビチャレンジ』を今年度より全村で実施しております。また、村内の全小中学校においても、「月に1回のノーテレビデーの実施」を推進しております。

では、なぜ今、テレビの時間についての取り組みがなされているのでしょうか？

理由のひとつに次のことが挙げられます。岩手県の子どものテレビ視聴時間は、全国で最も長いと言う調査結果がありますが、川井村の子ども達は岩手県の平均よりも長く、テレビ視聴時間の見直しは、早急に取り組むべき課題のひとつです。

ではなぜ、テレビ視聴時間が長いことが良くないことなのでしょう。

一言で申しますと、『長い時間テレビを見ることは、子どもの成長に色々な影響を与える』からです。

具体的な影響

『学習理解への影響』

- ・ テレビやテレビゲームの時間が長い子ほど、夜更かしの傾向にある (川井村の子ども達にも同様の傾向)。
- ・ 寝不足による、授業中の集中力の低下及び学習理解の低下

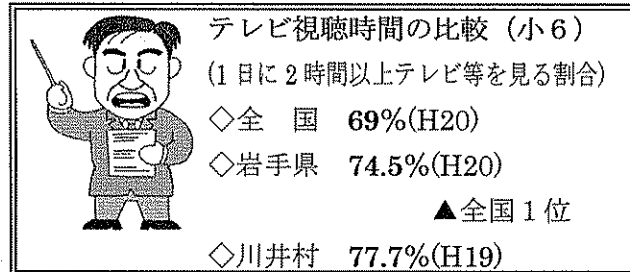
『生活リズムの乱れ』

- ・ 子どもの健やかな成長に影響 (テレビやテレビゲームの時間が長い子ほど、夜更かしの傾向にあり、朝起きられないため、朝食をしっかりと食べない、朝食を抜くと言ったことから)
※朝ごはんをしっかりと食べない子 (子どもに限らず大人も) は、太りやすい体質にもなります。

『体験機会の減少・想像力の欠如』

- ・ 様々な人と触れ合う時間や体験機会の減少 (人とのふれあいや様々な体験により、言葉や会話、友達と遊ぶと言った基本的な人間の能力が育まれる大切な期間が、テレビやゲームによりその時間が削られる。その影響から、子どもの言語や感性の発達を阻害することが懸念される。)
- ・ テレビは、映像も音楽もついているため、子ども達は想像する必要が無く、ただ見ているだけになり、子ども達の想像力は育まれません。

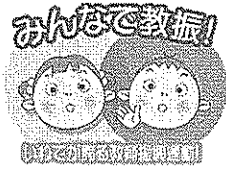
テレビは情報を得る最良の手段で、テレビゲームと共に手軽に誰もが楽しめる「娯楽」のひとつであるとともに、家庭内のコミュニケーションの一助となっております。我々の生活に無くてはならないものですが、だからこそ、各家庭でのテレビ視聴やテレビゲームの使用について、意識して考えていく必要があるのです。



編集後記

このお便りを作成している際、思い出したことがあります。私は、現在29歳ですが、以前、『今の20代は、十数年前の20代と比べ、精神年齢が低いらしい。』と言われ、何を根拠に？と思いつつ腹が立ったことがありました。しかし、テレビ(ゲーム)による体験機会の減少と言う件を書きながら、「テレビゲームが流行りだしたのは、確か自分が小学1年生の頃(今から20数年前)だったよなあ・・・。」と思い、実は自分も大いに影響を受けてしまっているのでは！？と思い、他人事ではないなと感じた次第でした。(汗)
(もうすぐ30歳になります) 澤田 満穂

Let's 教振 No.2



川井村教育振興運動推進委員会
2009年9月 日発行
事務局 (川井村教育委員会内)
0193-76-2167

アンケートへのご協力 大変ありがとうございました!!

6月末に各学校を通して配布いたしました『テレビ及びテレビゲーム等アンケート』へご協力を頂きまして大変ありがとうございました。おかげさまで村内の小中学生及びそのご家庭の様子を改めて確認することができました。また、保護者の皆様からたくさんのご意見やご感想を頂き、こちらも大変参考になりました。本当にありがとうございました。

アンケートを集約した結果、以下のようなことが分かりました。各家庭でのテレビやテレビゲーム時間の目安の参考としてください。

6月末のアンケートによると

①川井村の小中学生は、普段(月～金曜日)の日約120分、テレビを見ています。

(小学生:約111分、中学生:約128分)

②テレビゲームの時間を加えると、普段(月～金曜日)約150分、テレビ画面を見ています。

(小学生:約145分、中学生:約160分)

※①と②は村内小中学生の平均時間です。

③村内小中学生の6割以上が、保護者と同じか、保護者より長い時間テレビを見ています。

(一概に言えませんが、小中学生の就寝時間が、保護者(大人)とあまり差が無いことを示しています。)

④村内小中学生の4割弱のご家庭で、テレビ(ゲーム)の時間の約束などを設けています。

⑤テレビを誰も見ていないとき、テレビを消す家庭の小中学生ほど、

テレビの視聴時間が短い傾向にあります。

(詳細は右記のとおりです)

①や②の結果と右の全国平均を比べると、川井村の平均時間は全国平均よりも若干長いことが伺えます。川井村には学習塾などが無いので、必然的にテレビの時間が長くなると考える方もいらっしゃると思いますが、テレビやテレビゲーム漬けの生活を簡単に変えることは難しく、意識していく必要があると思います。

またアンケートから、約3割の小中学生(特に女子)がテレビゲームをしないことが分かりました。テレビゲームをしている小中学生に限定すると、実際はもっと長い時間していることとなります。

⑤の結果から、テレビの時間を減らす取組みのひとつに『テレビを見ないときは消す』ということが効果的であることが伺えます。今まで以上に意識して実践してみたいでしょうか。

裏面に、村内のご家庭で実践されている『テレビ及びテレビゲームの約束』の一部を紹介いたしますので、各家庭での取組みの参考としていただければと思います。

また、ファーストチャレンジは今月までの取組ですので、引き続き、家庭内での実施をお願いします。

小5から中3の普段(月～金曜日)の日のテレビ及びテレビゲーム平均時間(全国)

※()内はテレビ及びテレビゲーム時間の内訳
(テ:テレビ視聴時間、ゲ:テレビゲーム使用時間)

◆小5	◆小6
138.8分	149.1分
テ:約103分	テ:約111.6分
ゲ:約35.8分	ゲ:約37.5分

◆中1	◆中2	◆中3
149分	153.6分	136.5分
テ:112.8分	テ:116.4分	テ:103.8分
ゲ:36.2分	ゲ:37.2分	ゲ:32.7分

※ベネッセコーポレーションの調査結果を参考

おうちで誰もテレビを見ていない際の、「家庭でのテレビがついている頻度」ごとの、小中学生のテレビ平均視聴時間

◆よくある家庭	約174分視聴
◆ときどきある家庭	約151分視聴
◆あまりない家庭	約133分視聴
◆ない家庭	約115分視聴

家庭内でのテレビ・テレビゲームの約束と、その約束が守られる要因や工夫

アンケートの中で、テレビやテレビゲームに関する約束についての項目があり、その中で、自由記述形式で、実践例を記入いただきました。その1部を紹介いたします。

○テレビに関する約束

◆約束	◆要因や工夫
・食事中はテレビをつけない。また、勉強中もテレビをつけない。	
・テレビは平日30分、休日1時間	・見たいという番組は録画し、後日必ず見せてあげる(時間を守りながら)。また、勉強や手伝いが終わってから見せる。
・テレビは8時まで。	・8時までに寝る準備(風呂・歯磨き)をして寝室に行く。
・見たいテレビの前に宿題やご飯などをおわらなければ、1日テレビはつけない。	・テレビのコンセントを抜く。
・平日分の録画や休日のテレビを見る時間をこれ以上増やさない。	・番組厳選を続ける。
・見たいテレビを選んでみている。	
・続けて1時間以上見ない。	・出来る限り大人が声をかける。

○テレビゲームに関する約束

◆約束	◆要因や工夫
・宿題などやることをやってからゲーム。	・ゲームは親がOKを出して何分までと決めてやる。
・1時間ゲームをしたら2時間は間をあける。	・決まりを破ったら、1週間ゲーム禁止。
・宿題、勉強の後に必ずやる。	・守らない時はゲームを取り上げる。
・ゲームを購入するとき、やってよい日を決めてから、買ってあげた。	・守らなかった場合は、連帯責任で禁止ということにしている。
・ゲームは1時間(毎日しない)	・ゲーム終了10分前からカウントダウン。
・午後8時以降はゲームをやらない。	
・日にちを決めてやっている	
・親の許可をもらう。	

テレビもテレビゲームについても、『やるべきことをやってから』という家庭が多かったです。また、テレビゲームに関しては、『時間や曜日の制約』、『親の許可』といった内容が多かったです。様々な工夫の元、実施されているのが分かりました。

大変良い実践例だと思いますので、是非、ご家庭においても参考にさせていただければと思います。

